

屋外体育施設個別管理計画について

1 屋外体育施設個別管理計画策定の背景及び目的

1) 策定の背景

令和 5（2023）年 3 月に策定した「立川市体育施設のあり方」において、市内にある屋外体育施設においては「屋外体育施設個別管理計画」を策定し、改修工事等の必要性や、管理運営計画を検討すると記載したことから、計画の策定を行う。

2) 策定の目的

屋外体育施設は、利用者が安全・安心に利用できるよう適切な維持管理が必要になる。しかし、使用による汚れや摩耗、損傷、経年による劣化等によりその機能が低下し、利用者が安心して利用ができなくなり、さらに安全性の確保についても確かなものではなくなっている。

そのため、各施設を維持していくには、すでに改修が必要な施設の改修及び継続的な管理運営計画が必要となる。

そこで、計画期間において屋外体育施設の機能を維持していくため、基本方針を定め競技種目ごとに方向性を整理し、施設ごとに個別の管理計画を策定する。

2 計画の位置づけ

- ・立川市第 4 次長期総合計画（平成 27（2015）年）
- ・立川市体育施設のあり方（令和 5（2023）年 3 月）

3 対象施設

- ・立川市運動場条例（平成 13 年条例第 12 号）に掲げる施設

（立川市多摩川緑地野球場、立川市立川公園新堤防運動広場、立川市錦町庭球場・立川市錦町フットサル場（明治安田 TACHIKAWA フィールド）、立川市立川公園野球場（コトブキヤスタジアム）、立川市立川公園陸上競技場、立川市泉町庭球場、立川市泉町ゲートボール場、立川市泉町野球場、立川市砂川中央地区東野球場、立川市砂川中央地区庭球場、立川市砂川中央地区ゲートボール場、立川市砂川中央地区多目的運動広場、立川市砂川中央地区東ゲートボール場、立川市砂川中央地区北多目的運動広場、立川市砂川中央地区北野球場、立川市見影橋公園野球場、立川市見影橋公園陸上競技場、立川市一番町少年野球場、立川市中里野球場、立川市中里多目的運動広場、立川市西砂庭球場）

※自治大学校を除く

- ・立川市たちかわ中央公園スケートパークの設置及び使用に関する要綱（平成 27 年市長決定）
（立川市たちかわ中央公園スケートパーク）

4 計画期間

令和 6（2024）年度から令和 15（2023）年度までの 10 年間とし、実施予定時期を第 1 期（令和 6（2024）年度から令和 10（2028）年度）・第 2 期（令和 11（2029）年度から令和 15（2023）年度）の各 5 年間に分ける

5 対象施設の基本情報の把握（屋外体育施設カルテの作成）

各屋外体育施設の基本情報、劣化状況等の課題を把握するために、情報が整理されたカルテを作成する。

6 基本方針

1) 老朽化等による施設の改修工事の実施

各屋外体育施設のカルテより、本計画の策定時において老朽化等ですでに施設の機能が低下し利用者が安心して利用ができず、安全性の確保についても問題がある場合は優先的に改修工事を実施する。

なお、すでに設置している夜間照明において水銀灯を使用している照明については、生産が終了し在庫の確保が困難であることから LED 化にむけた改修工事を実施していく。

2) 施設の現状把握のための定期的な維持管理点検の実施

施設の修繕の必要性等の現状を把握するため、年に 1～2 回定期的に維持管理点検を実施する。点検には「補修改修チェックシート」を作成し、各施設のグラウンド舗装及び付属設備について点検項目を定める。チェックシートにより修繕等が必要と判断したものについては、修繕費より修繕を実施する。また、大規模な改修が必要な場合は翌年度以降の予算措置等の対応を行い、工事を実施する。

7 今後の取組み（種類別）

基本方針より、競技種別ごとに今後の取組みを定める。（野球場、陸上競技場、庭球場、多目的運動広場、ゲートボール場、スケートパーク）

8 施設ごとの個別管理計画の策定

今後の取組み（種類別）により、対象施設ごとの個別管理計画を策定する。個別管理計画はカルテ下段に記載し、改修工事等の計画については、一覧を作成し、施設全体にて管理ができるようにする。